

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 睦会	代表者	理事長 中沢 允	法人・事業所の特徴	運営法人(昭和52年設立)は長野市と須坂市で高齢者中心の総合福祉事業を展開している。当事業所は「住み慣れた地域で あなたらしく いきいきと」を運営方針に掲げ、ご利用者、ご家族はもちろん、スタッフもいきいきとできる事業所を目指している。
事業所名	むつみ家いきいき	管理者	新村 潤		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	2人	1人	人	1人	1人	人	15人	人	21人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者の役割を明確にし、利用者家族へ担当の紹介を実施する。 ・改善策の取組みを年間計画にし、達成度の高いものにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者家族へ事業所職員の紹介(顔写真付き)と、新しい職員紹介を含めた「いきいきだより」を発行した。 ・「よりそいシート」に取り組んだが、効果を上げるには至らなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の顔と名前が分かるチラシを、家族宛に配布してもらい良かった。 ・「よりそいシート」は利用者を知る為の一つの手段として、家族と会話を持つ中で記入していけば良いと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「よりそいシート」を全利用者について活用することを通じ、個別サービスの充実をはかる。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進委員が現場の状況を把握しやすくするため、新年度より運営推進会議の際、現場視察の時間を設ける。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視察時間を設けたのは1度きりであり、状況把握は難しかった。年度内に複数の機会を設ける必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設入り口の看板が分かりづらい。 ・リビングの照明が暗いように思う。 ・事業所内の温度管理に留意してもらいたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・視察時間を5月、9月、1月の会議に設け、現場の状況を理解してもらう。 ・事故予防の視点を含め、事業所内外の環境改善をはかる。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌の定期発行(6月、9月、12月、3月)と地域回覧を行う。 ・相談しやすさをアピールするため拠点パンフレットの他に、独自のパンフレットを見直す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいきだより」を11月に発行したが、地域回覧には至らなかった。 ・ホームページ及び拠点パンフレットは更新したが、事業所独自のパンフレットの見直しはできなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいきだより」は家族向けだけでなく、地域へも発信して欲しい。 ・オレンジカフェに事業所利用者も参加しているが、知り合いも多く、互いに楽しめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「いきいきだより」を年3回の頻度で発行すると共に、地域回覧も実現する。 ・小規模多機能サービスに関する分かりやすいパンフレットを作成し、配布する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の民生委員等の方とイベントの参加等を通じて関わりを持ち、小規模多機能施設のPRをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例のふれあい会食やオレンジカフェで小規模のPRをし、カフェ利用者の事業所利用にも繋がった。 ・ケアマネ研修会に参加することで、小規模のPRができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域資源や民生委員との関わりは、地域交流ホールでふれあい会食を行っているので良いと思う。 ・民生委員の中で、利用に繋がった後が分からなく心配する人もいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい会食等で、民生委員等の地域関係者と情報交換の機会を持つ。 ・地元公民館の文化祭等、地域行事への参加を拡大する。
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> ・運営推進会議は、事業所側からも相談できる場にする。 ・コミュニティカフェの地域展開をはかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議に介護事故の事例をはかり、具体的な改善策の助言を得た。 ・チラシ回覧等で会議の協力を得た結果、5月16日より「カフェ柴」を地域展開できた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・介護事故対策については、繰り返さないよう、危機感を持って取り組んでもらいたい。 ・「カフェ」事業では、地域利用者の交通手段が課題のひとつである。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会議での意見を事業に活かすため、会議の開催と近接して全職員会議を設け、内容の周知と具体的な改善策等を講ずる。
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> ・防災・災害の避難訓練を充実し、地域との連携を更に強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・10月29日に第3回地域合同防災訓練を実施した(参加者53名)。雨天であったが有意義な訓練ができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練は地域の方が大勢参加しており、凄いと感じた。地域との連携が非常に取れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設は浸水想定区域に立地しているため、水害に対する避難確保計画を作成すると共に、避難訓練を実施する。